

令和5年度

# 病害虫発生予察情報 第9号

## 特殊報第1号

北海道病害虫防除所 令和5年(2023年)7月7日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

## トマトキバガの確認について

発生確認作物:—

病害虫名: トマトキバガ *Tuta absoluta* (Meyrick)

### 1. 発生の確認経過および国内外での発生状況

- (1) 令和5年6月26日、道総研道南農業試験場(北斗市)のばれいしょほ場に設置したトマトキバガの侵入調査用のフェロモントラップにおいて、本種と疑われる成虫1頭が捕獲された(写真1)。横浜植物防疫所に同定を依頼した結果、6月29日に本道未発生のトマトキバガ(*Tuta absoluta*)であることが確認された。
- (2) 本種は南アメリカ原産であるが、2006(平成18)年にスペインへの侵入が確認されて以降、ヨーロッパ、アフリカ、中央アメリカ、西アジア、アラビア半島、インド、ネパール、東南アジアに分布を拡大し、2021(令和3)年までに台湾、中国、中央アジア諸国等の近隣地域でも発生が確認されている。
- (3) 本種は国内では、2021(令和3)年10月に熊本県、同年12月に宮崎県のトマトほ場で初めて確認された。それ以降、青森県や秋田県等、計15県でトラップによる誘殺が確認されている。
- (4) 道内では現在、農作物における本種の発生及び被害の報告はない。

### 2. 形態および生態等の特徴

- (1) 成虫(写真2)は、翅を閉じた静止時で体長5~7mm(前翅長約5mm、開張約10mm)。前翅は灰褐色の地色に黒色斑が散在する。後翅は一樣に淡黒褐色である。幼虫(写真3)は、終齢で約8mm。体色は淡緑色~淡赤白色。頭部は淡褐色。前胸の背面後方に細い黒色横帯がある。
- (2) 1年に複数の世代が発生し、繁殖力が高い。発生世代数は環境条件によって異なり、年に10~12世代発生する地域もある。卵~成虫になるまでの期間は24~38日程度で、気温が低い時期はさらに延びる。成虫は夜行性で、日中は葉の間に隠れていることが多く、雌は一生のうちに平均約260個の卵を寄主植物の葉の裏面などに産み付ける。幼虫は1齢から4齢までの生育ステージがあり、土中や葉の表面で蛹化する。
- (3) トマト、なす、ピーマン、ばれいしょ等のナス科植物が主要な寄主植物である。マメ科のいんげんまめも、寄主植物として確認されている。トマトでは、茎葉の内部に幼虫が潜り込んで食害し、孔道が形成される。葉の食害部分は表面のみ残して薄皮状になり、白~褐変した外観となる。果実では、幼虫が穿孔侵入して内部組織を食害するため、果実表面に数mm程度の穿孔痕が生じるとともに腐敗が生じ、果実品質が著しく低下する(写真4)。

### 3. 防除対策

- (1) ほ場内をよく見回り、見つけ次第捕殺する。
- (2) トマトキバガの発生が疑われた場合は、速やかに最寄りの農業改良普及センター、農業試験場、病害虫防除所に連絡する。
- (3) 発生を拡大させないため、薬剤散布を行うとともに、被害葉や被害果実はほ場に放置せず、速やかに土中に深く埋没するか、ビニル袋などに入れて一定期間密閉し、寄生した成幼虫を全て死滅させ、適切に処分する。
- (4) 現在のトマトキバガに対する登録農薬は表のとおり。  
また、植物防疫法第29条第1項に基づく措置として、別紙に記載された農薬による防除を行うことができる。なお、薬剤散布にあたっては、最新の農薬登録情報を確認し、薬剤抵抗性の発達を防ぐため系統が異なる薬剤のローテーション散布を行う。



写真1:フェロモントラップで誘殺された成虫



写真2:トマトキバガの成虫



写真3:幼虫(終齢)



写真4:トマト果実の食害痕



写真5:トマト葉の食痕



写真6:ばれいしょ葉の食痕(飼育個体)

写真1は道南農業試験場 原図

写真2～6は 農林水産省横浜植物防疫所 原図

表 トマトキバガに登録のある薬剤

農薬の種類	農薬の名称	登録作物		使用方法 (希釈倍数、使用方法)	IRAC コード
		トマト	ミニトマト		
アバメクチン乳剤	アグリメック	○	×	500～1000倍、散布	6
インドキサカルブ水和剤	トルネードエースDF	○	×	2000倍、散布	22A
エマメクチン安息香酸塩乳剤	アフーム乳剤	○	○	2000倍、散布	6
クロルフェナピル水和剤	コテツフロアブル	○	○	2000倍、散布	13
シアントラニリプロール水和剤	ベネビアOD	○	○	2000倍、散布	28
シアントラニリプロール水和剤	ベリマークSC	○	○	400株当り25mL、灌注、 希釈水量400株当り 10～20L(1株当り25～50mL)、 育苗期後半～定植当日	
シアントラニリプロール粒剤	プリロツソ粒剤	○	○	2g/株、株元散布、 育苗期後半～定植時	
	プリロツソ粒剤オメガ				
脂肪酸グリセリド・スピノサド水和剤	ダブルシューターSE	○	○	1000倍、散布	5
スピネトラム水和剤	ディアナSC	○	○	2500～5000倍、散布	5
	ラディアントSC				
テトラニリプロール水和剤	ヨーバルフロアブル	○	○	2500倍、散布	28
ピリダリル水和剤	プレオフロアブル	○	○	1000倍、散布	UN
フルキサメタミド乳剤	グレーシア乳剤	○	○	2000倍、散布	30
フルベンジアミド水和剤	フェニックス顆粒水和剤	○	○	2000倍、散布	28
メタフルミゾン水和剤	アクセルフロアブル	○	○	1000倍、散布	22B
BT水和剤	エスマルクDF	○	○	1000倍、散布	11A

別紙

以下に記載した農薬はトマトキバガに対して登録はありませんが、植物防疫法第29条第1項の規定による防除を行うために使用が可能です。

また、使用にあたっては購入した農薬の適用作物、使用方法、使用時期、散布液量、希釈倍数使用量、使用回数を守ることで、出荷停止等、流通に支障が出ることもありません。

なお、農薬の使用にあたっては、必ず最新の農薬登録情報を確認してください（農林水産省「農薬登録情報提供システム」 <https://pesticide.maff.go.jp/> ）。

○ ピーマン

農薬の種類	RAC コード
インドキサカルブ水和剤	22A
エマメクチン安息香酸塩・ルフェヌロン水和剤	6 15
エマメクチン安息香酸塩乳剤	6
クロマフェノジド水和剤	18
クロラントラニプロール水和剤	28
クロルフェナビル水和剤	13
クロルフルアズロン乳剤	15
シアントラニプロール水和剤	28
シペルメトリン水和剤	3A
スピネトラム水和剤	5
スピノサド水和剤	5
ダイアジノン粒剤	1B
テトラニプロール水和剤	28
ノバルロン乳剤	15
ピリダリル水和剤	UN
フルキサメタミド乳剤	30
フルフェノクスロン乳剤	15
フルベンジアミドくん煙剤	28
フルベンジアミド水和剤	28
ペルメトリン乳剤	3A
ペルメトリン粒剤	3A
メタフルミゾン水和剤	22B
メトキシフェノジド水和剤	18
ルフェヌロン乳剤	15
レピメクチン乳剤	6
脂肪酸グリセリド・スピノサド水和剤	5

○ なす

農薬の種類	RAC コード
アクリナトリン水和剤	3A
イソキサチオン粉剤	1B
インドキサカルブ水和剤	22A
エマメクチン安息香酸塩・クロラントラニプロール水和剤	6 28
エマメクチン安息香酸塩・ルフェヌロン水和剤	6 15
エマメクチン安息香酸塩乳剤	6
クロマフェノジド水和剤	18
クロラントラニプロール水和剤	28
クロラントラニプロール粒剤	28
クロルフェナビル水和剤	13
クロルフルアズロン乳剤	15
シアントラニプロール・チアメトキサム粒剤	28 4A
シアントラニプロール水和剤	28
スピネトラム水和剤	5
スピノサド水和剤	5
ダイアジノン粒剤	1B
テトラニプロール水和剤	28
テフルベンズロン乳剤	15
ノバルロン乳剤	15
ビフェントリンくん煙剤	3A
ピリダリル水和剤	UN
フェンバレレート・マラソン水和剤	3A 1B
フルキサメタミド乳剤	30
フルフェノクスロン乳剤	15
フルベンジアミドくん煙剤	28
フルベンジアミド水和剤	28
ペルメトリン粒剤	3A
メタフルミゾン水和剤	22B
メトキシフェノジド水和剤	18
ルフェヌロン乳剤	15
レピメクチン乳剤	6
還元澱粉糖化物・クロチアニジン・ピリダリル・ペルメトリン・マンデストロビン水和剤	4A 3A UN
脂肪酸グリセリド・スピノサド水和剤	5

## ○ ばれいしょ

農薬の種類	RAC コード
NAC水和剤	1A
PAP乳剤	1B
PAP粉剤	1B
アセタミプリド水溶剤	4A
アセフェート水溶剤	1B
カルタップ水溶剤	14
カルタップ粉剤	14
シアントラニリプロール水和剤	28
スピネトラム水和剤	5
ダイアジノン粒剤	1B
トラロメトリン水和剤	3A
ピリダリル水和剤	UN
フルベンジアミド水和剤	28
プロチオホス乳剤	1B
プロフェノホス乳剤	1B
ペルメトリン粒剤	3A
メソミル水和剤	1A
メソミル粉粒剤	1A
ルフェヌロン乳剤	15

## ○ さやいんげん

農薬の種類	RAC コード
MEP乳剤	1B
PAP乳剤	1B
エトフェンプロックス乳剤	3A
クロラントラニリプロール水和剤	28
クロルフェナピル水和剤	13
シアントラニリプロール水和剤	28
スピネトラム水和剤	5
ピリダリル水和剤	UN
フルキサメタミド乳剤	30
フルフェノクスロン乳剤	15
フルベンシアミド水和剤	28
ペルメトリン乳剤	3A
ペルメトリン粒剤	3A
マラソン乳剤	1B
マラソン粉剤	1B
レピメクチン乳剤	6